



食と農専門部会が農福連携の現場を見学

農園「自然農福の力」の圃場での植え付け作業



食と農専門部会では、豊田市山村地域で主に家族経営の農業に携わる人たちが情報交換する場を作っています。3月5日(木)、部会の仲間いっしょだちからで今枝雅加良さんの農園「自然農福の力」の圃場で、農福連携の現場を見学させていただきました。今枝さんは、7年間福祉事業所で農福連携に取り組み、農業者として独立しました。

福祉の側は無門福祉会さんの農業班で、障害の程度としては生活上のサポートが比較的多く必要な方たちでした。

思わず笑ってしまうほどの強風でしたが、皆さんせつせとジャガイモの植え付け作業をされていました。障がいの特性によって得意な

面をうまく引き出すことで戦力となっていくことや、そこからその人の自信につながっていくことを、今枝さんが嬉しそうに話してくれたのが印象的でした。

受入れ側、福祉の当事者側、どちらの側もある程度理解した人が増えていき、連携がうまくいくと、農業により面白みが増すと思いました。誰一人として役に立たない人はいない、ということが証明されていくのではないのでしょうか。山村地域の直面する「農業の担い手不足」、「耕作放棄地」問題を解決するための可能性も感じました。(小黑敦子)



歴史ある寺院の空き家片付け大作戦実施

旭地区押井町の天台宗普賢院に70名以上が集合



2月24日(月)押井町にある天台宗普賢院(二井寺)で「空き家片付け大作戦」に参加しました。地域の人を始め40人を超えるボランティアが集まり、総勢70人以上の大片付けになりました。

普賢院は非常に歴史のある寺院で、創建は白鵬時代(飛鳥時代の後、天平時代の前。大化の改新(645年)から平城京遷都(710年)までをいう。)と伝えられ、戦国時代に武田氏の三河攻めにより消失、江戸時代に鈴木正三和尚(「万民徳用」を説いた日本を代表する思想家)により再建されています。

檀家の無い俗に言う祈祷寺で、2016年より空き家になっていました。このたび、寺院関係者との話し合いにより、一般社団法人押井営農組合「押井の里」が境内地、周辺の農地、森林のすべてを借り受け、「自給家族(押井町の米づくりに参加する家族)」はじめ押井の里にかかわる人々の交流拠点として活用することになりました。

昼食には地域住民に馴染み深いお寺の定番行事食と源流米ミネアサヒが振舞われました。(西田又紀二)



2016年より空き家になっていた



出てきた荷物の多さに圧倒される



振舞われたお寺の定番行事食



姿が多く見られます。 エントランスでは厳冬期に暖をとる、ゆらめく炎に癒される薪ストーブがお出迎えします。 大会議室の床暖や給湯設備でもある薪ボイラーには、特に男性陣が興味津々になるのが常です。 吹き抜けを見上げると、簡易宿泊室7人用が1部屋、3人用が2部屋設けてあり、薪ボイラーで沸かしたやわらかいお湯にゆったり浸かれる檜風呂も

あります。 他にも、蕎麦打ち道具や草履作り用の組台、きのこの菌打ちをする為のドリルなど、食や生活必需品について「買う」だけでなく「作る」、「生み出す」ための道具も揃っていますのでお問合せください。(※注：道具の貸出のみ。製作・体験に関して指導講師はおりません。) また、隣接の「もりの里」市民農園では新盛里山耕実行委員会のご指導をいただきながら、田んぼや畑で農業体験もでき(年間利用申込制)、トヨタ自動車(株)労働組合の稲作体験には毎年100名以上のご家族連れが参加され、泥んこまみれの子どもたちの歓声が響きます。 農機具の貸出も行っています。 **新盛里山耕実行委員会のイベント開催** 毎年4月には「八重桜を愛でる会」が開催されます。八重桜の濃いピンク色に染まる里山を巡り、山菜や筍掘り、特製の味噌だれが絶品の

すげの里基本情報

住所 豊田市新盛町中洞67番地
 電話 0565-69-1622
 FAX 0565-69-1633
 E-mail sugenosato@city.toyota.aichi.jp
 開館時間 午前9時～午後5時
 休館日 毎週水曜日(祝日が水曜日の場合、木曜日)、年末、年始

利用対象 里山の自然や生活文化の体験など農山村地域における交流や定住を希望される方

利用申込 利用希望日の2ヶ月前(月初日)～利用当日※受付初日に利用希望が重複した場合は抽選。※宿泊の場合は、利用予定日の2週間前までに申し込んでください。

移住定住部会では「目からウロコの片付け術」と題し、整理収納アドバイザーの香田佳江先生をお招きし、今後増える家屋の相続や片付けに向けた学びの場となりました。



移住定住部会「目からウロコの片付け術」



毎年4月に開催される「八重桜を愛でる会」で歩道

五平餅作りを体験し、目もお腹も満たされるひとときとなります(令和2年度はコロナウィルス拡散防止のため残念ながら中止が決まっています)。 6月には「ホテル観賞会」を開催。夕暮れ間近に手作りの五平餅や豚汁に舌鼓をうった後は、里山に響き渡るコンサートに耳を傾け、いよいよ日が沈んだ頃、当館周辺の田畑へホタルを探しに向かいます。最初は目が慣れません、段々と暗闇に舞うホタルの群れが見えてきた時の感動！ぜひ体感しにお出かけください。

(一社)おいでん・さんそんの取組でも 当館の設置目的に沿う(一社)の事業では、学習会の会場や宿泊の利用もしています。 人材育成事業「ミライの職業訓練校」はもちろん、(株)ワイズのインターンシップ事業では(一社)が山村地域との交流をコーディネートし合宿の会場となりました。 食と農の専門部会では「中山間地の農を考えるサミット」を開催し、小規模自営農家さんから小売店の流通担当者までが集い情報交換する貴重な場となり、第2回、第3回と続いていく

利用調整について 当館は豊田市や指定管理者、新盛里山耕実行委員会、もりの里市民農園は年間を通して優先的に利用予約をすることができ、また、今年度より当館の設置目的に加え「非営利団体であること」「年に一度以上、一般市民向けに公開講座を実施すること」の要件を満たす団体を登録団体とし、先に挙げた団体に準じて優先的に利用予約できるようにする予定です。ご希望の団体はご相談ください。(松本真実)